

令和3年度 札幌市交通事業 予算の概要

軌道整備事業会計

1	予算総括表	1 頁
2	業務量	2 頁
3	主要事業の概要	3 頁
4	過去5年間の傾向	4 頁

高速電車事業会計

1	予算総括表	5 頁
2	業務量	6 頁
3	主要事業の概要	7 頁
4	過去5年間の傾向	8 頁

1 予算総括表

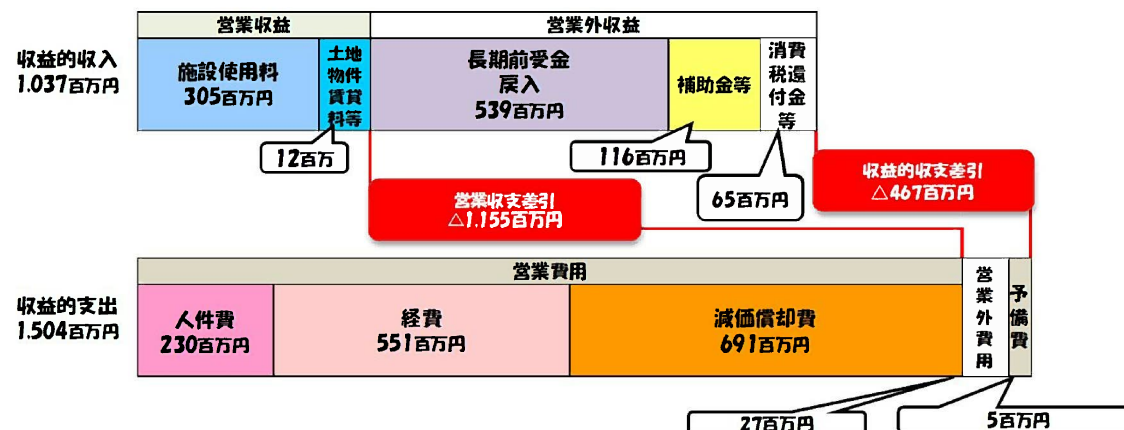
(軌道整備事業会計)

(単位:百万円、税込)

項目		2年度予算 A	3年度予算 B	差引 (B-A)
収益的 収支	営業収益 (施設使用料収入等)	538	317	△ 221
	営業費用 (人件費・経費等)	1,509	1,472	△ 37
	営業収支 (本業による利益)	△ 971	△ 1,155	△ 184
	営業外収益 (補助金等)	674	720	46
	営業外費用 (支払利息・消費税等)	77	27	△ 50
	営業外収支 (本業以外による利益)	597	693	96
	予備費	5	5	0
	特別利益	48	0	△ 48
	特別損失	0	0	0
	収益的収支差引	△ 331	△ 467	△ 136
資本的 収支	資本的収入 (企業債・負担金)	2,610	1,119	△ 1,491
	うち特別減収 対策企業債	0	14	14
	資本的支出 (建設改良費等)	2,699	1,310	△ 1,389
	資本的収支差引	△ 89	△ 191	△ 102
当年度分損益勘定留保資金等 (減価償却費・長期前受金戻入等)		137	190	53
当年度分資金過不足額		△ 283	△ 468	△ 185
過年度分内部留保資金 (地財法)		284	1	△ 283
過年度分内部留保資金 (健全化法)		284	1	△ 283
合計(地財法)			△ 481	△ 481
合計(健全化法)		1	△ 467	△ 468
特別減収対策企業債 (収益的収支不足分)		0	467	467
再計(健全化法)		1	0	△ 1

●収益的収支

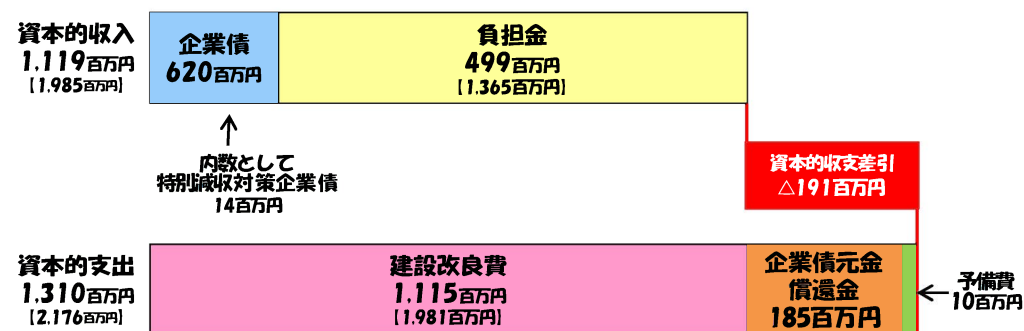
(金額は消費税込)



令和3年度予算の収益的収支は、施設使用料等の収入では、人件費・経費・減価償却費などの費用を賄うことはできず、467百万円の赤字となる見込みです。不足額については、特別減収対策企業債で賄います。

●資本的収支

(金額は消費税込)



令和3年度予算の資本的収支は、設備投資のための支出である建設改良費の財源を、企業債や負担金により賄っていますが、過去に借入した企業債の元金償還のために191百万円の不足となる見込みです。不足額については、減価償却費などの損益勘定留保資金等で賄います。

※【 】内は令和3年1定補正予算による前倒しをしなかった場合及び令和2年度当初予算からの繰越額を含めた場合の金額

2 業務量

(軌道整備事業会計)

区 分	2 年 度 予 算 A	3 年 度 予 算 B	比 較	
			増 減 Δ B - A = C	増 減 率 (%) C / A
営 業 キ 口 数	8.9 ^{km}	8.9 ^{km}	0.0 ^{km}	0.0
車 両 数	37 ^両	36 ^両	Δ 1 ^両	Δ 2.7

3 主要事業の概要

(軌道整備事業会計)

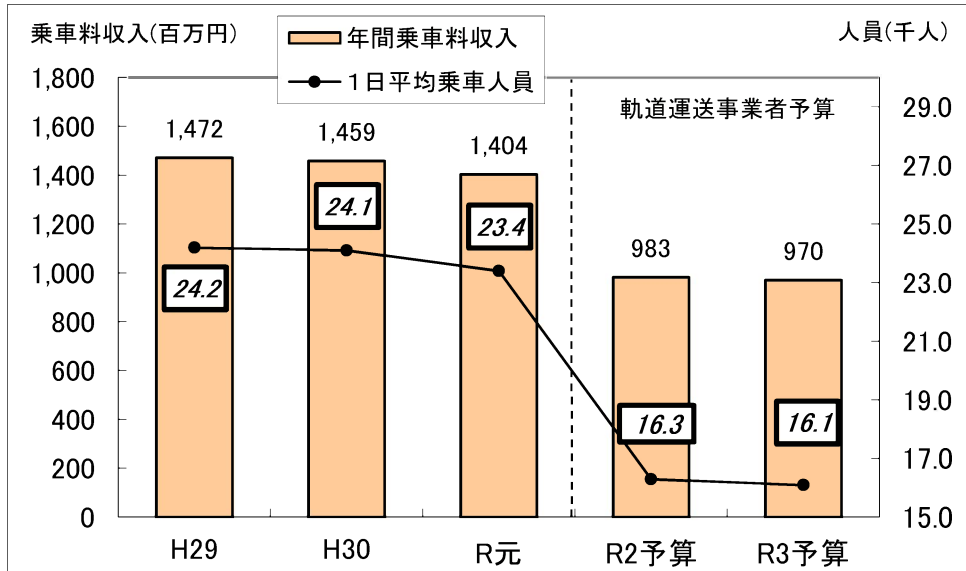
(単位：千円)

項目	2年度 予算(A)	3年度 予算(B)	差引 (B)-(A)	事業の主な内容
建設改良事業	2,522,000	1,115,000	△ 1,407,000	<p><車両基地改良、電力設備増強関連事業> R3年：391百万円</p> <p>○電車事業所改良建築工事・・・R3年：307百万円 ○六条変電所新設工事・・・R3年：84百万円</p> <p><車両関係> R3年：377百万円 (R3年1定補正：253百万円、R2年当初予算繰越：261百万円)</p> <p>○低床車両製造・・・R3年：57百万円 (R3年1定補正：253百万円、R2年当初予算繰越：261百万円) ○除雪車両更新・・・R3年：259百万円 ○8500形車体艤装改修・・・R3年：61百万円</p> <p><軌道更新・街路拡幅関連事業> R3年：257百万円 (R3年1定補正：352百万円)</p> <p>○軌道更新事業・・・R3年：59百万円 ○街路拡幅に伴う電気設備工事・・・R3年：179百万円 (R3年1定補正：11百万円) ○街路拡幅に伴う軌道改良及び停留場改修・・・R3年：19百万円 (R3年1定補正：341百万円)</p>
(※)	(1,656,000)	(1,981,000)	(325,000)	
企業債	191,900	606,000	414,100	
国補助庫金	40,600	0	△ 40,600	
一般会計補助金	24,500	0	△ 24,500	
同 上 財源内 負担金	2,265,000	499,000	△ 1,766,000	
その他	0	10,000	10,000	

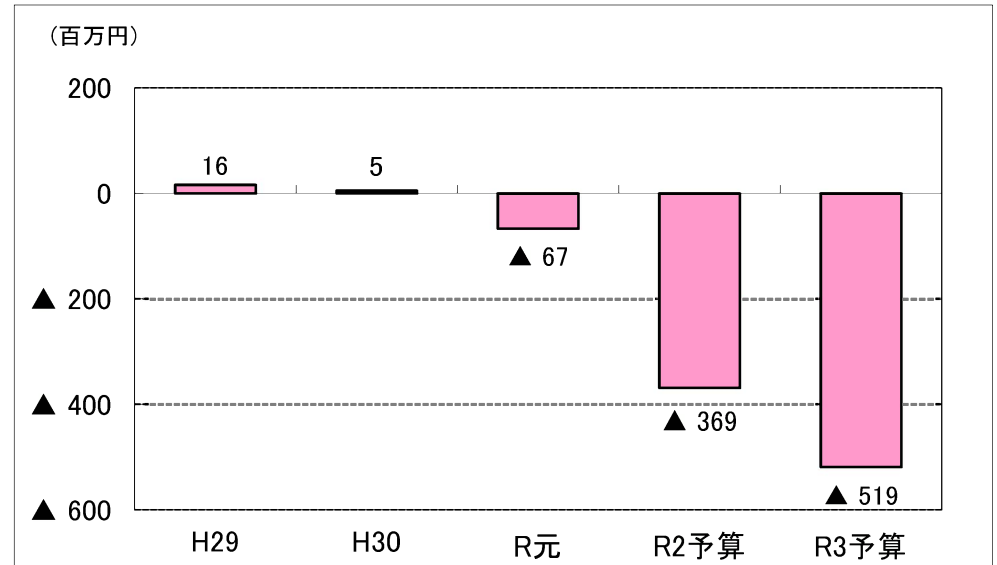
(※) 令和3年1定補正予算による前倒しをしなかった場合及び令和2年度当初予算からの繰越額を含めた場合の金額

4 過去5年間の傾向

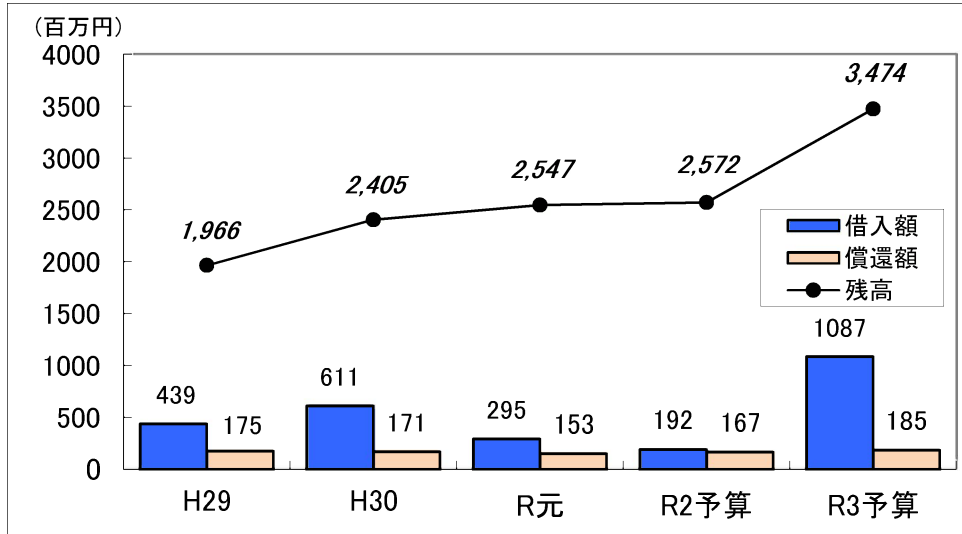
(1) (参考) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



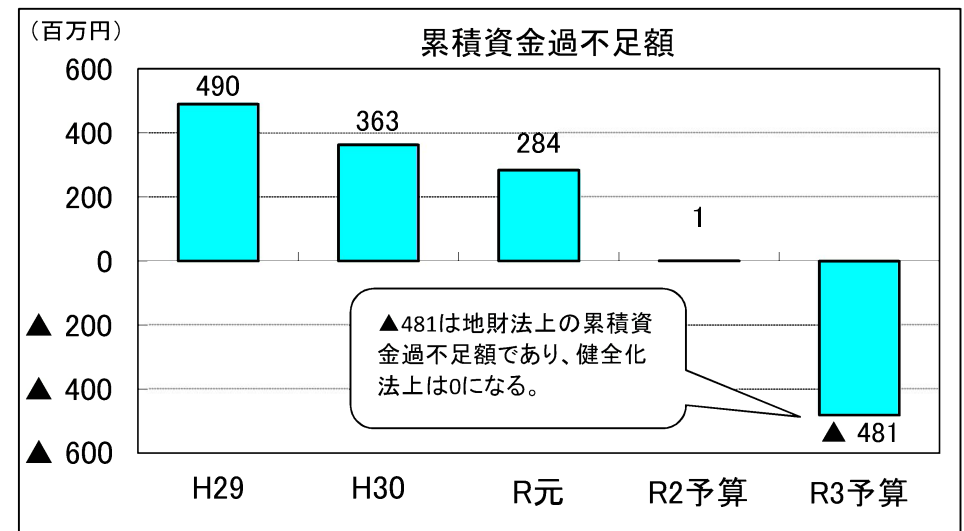
(2) 経常収支(税抜)



(3) 企業債(借入額・償還額・残高)



(4) 資金の状況



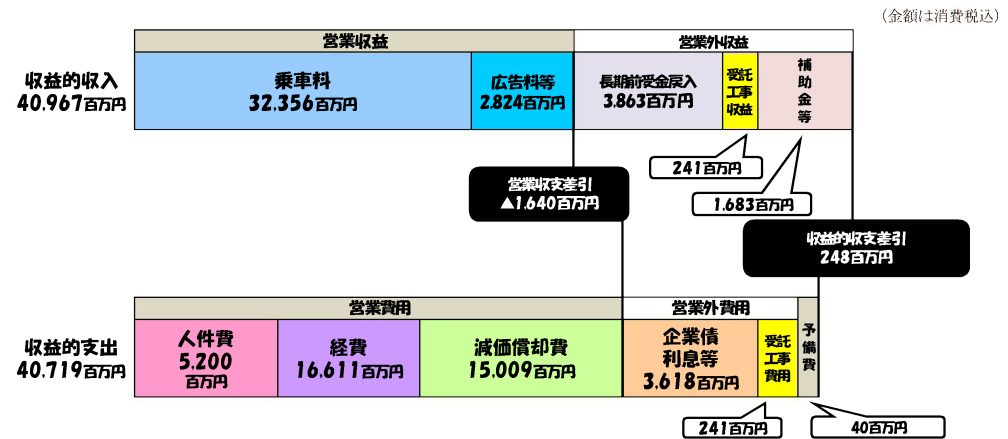
1 予算総括表

(高速電車事業会計)

(単位:百万円、税込)

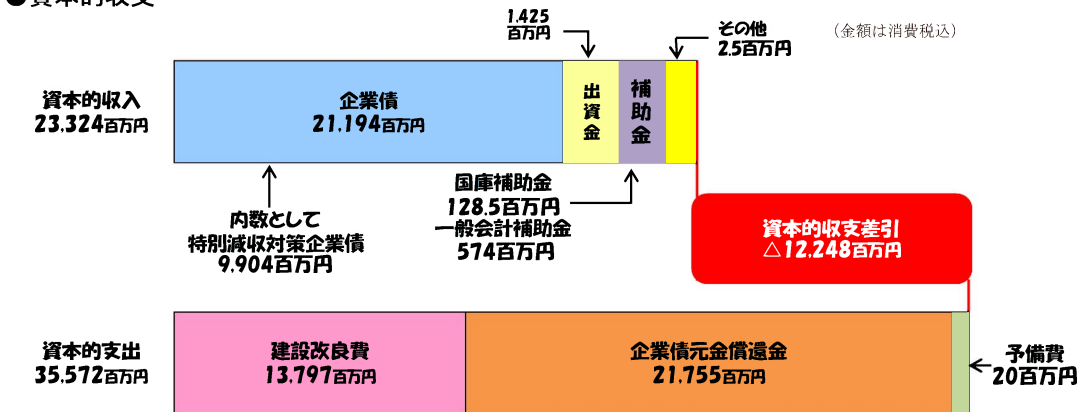
項 目		2年度予算 A	3年度予算 B	差 引 (B-A)
収 益 的 収 支	営業収益 (乗車料・広告料等)	33,092	35,180	2,088
	営業費用 (人件費・経費等)	37,262	36,820	△ 442
	営業収支 (本業による利益)	△ 4,170	△ 1,640	2,530
	営業外収益 (補助金等)	5,677	5,787	110
	営業外費用 (支払利息・消費税等)	4,244	3,859	△ 385
	営業外収支 (本業以外による利益)	1,433	1,928	495
	予備費	40	40	0
	特別利益	593	0	△ 593
	特別損失	216	0	△ 216
	収益的収支差引	△ 2,400	248	2,648
資 本 的 収 支	資本的収入 (企業債・補助金)	25,657	23,324	△ 2,333
	うち特別減収 対策企業債	7,827	9,904	2,077
	資本的支出 (建設改良費等)	39,505	35,572	△ 3,933
	資本的収支差引	△ 13,848	△ 12,248	1,600
当年度分損益勘定留保資金等 (減価償却費・長期前受金戻入等)	12,314	12,000	△ 314	
当年度分資金過不足額	△ 3,934	0	3,934	
過年度分内部留保資金 (地財法)	1,534	△ 10,227	△ 11,761	
過年度分内部留保資金 (健全化法)	1,534	0	△ 1,534	
合計(地財法)	△ 10,227	△ 20,131	△ 9,904	
合計(健全化法)	△ 2,400	0	2,400	
特別減収対策企業債 (収益的収支不足分)	2,400	0	△ 2,400	
再計(健全化法)	0	0	0	

●収益的収支



令和3年度予算の収益的収支は、乗車料収入等から、人件費、経費、減価償却費等の費用を差し引いた結果、248百万円の黒字となる見込みです。

●資本的収支



令和3年度予算の資本的収支は、設備投資のための支出である建設改良費や企業債償還金の財源を、企業債・補助金・一般会計出資などの収入により賅っていますが、多額の企業債元金償還金のため12,248百万円の不足となる見込みです。不足額については、減価償却費などの損益勘定留保資金等で賄います。

2 業務量

(高速電車事業会計)

区 分		2 年 度 予 算 A	3 年 度 予 算 B	比 較	
				増 減 Δ B - A = C	増 減 率 (%) C / A
営 業 キ 口 数		km 48.0	km 48.0	km 0.0	0.0
車 両 数		両 368	両 368	両 0	0.0
走 行 キ 口 数		千km 33,689	千km 33,667	千km Δ 22	Δ 0.07
輸 送 人 員	年 間	人 158,940,000	人 173,110,000	人 14,170,000	8.9
	一 日 平 均	人 435,000	人 474,000	人 39,000	9.0
乗 車 料		千円 29,945,000	千円 32,356,000	千円 2,411,000	8.1

3 主要事業の概要

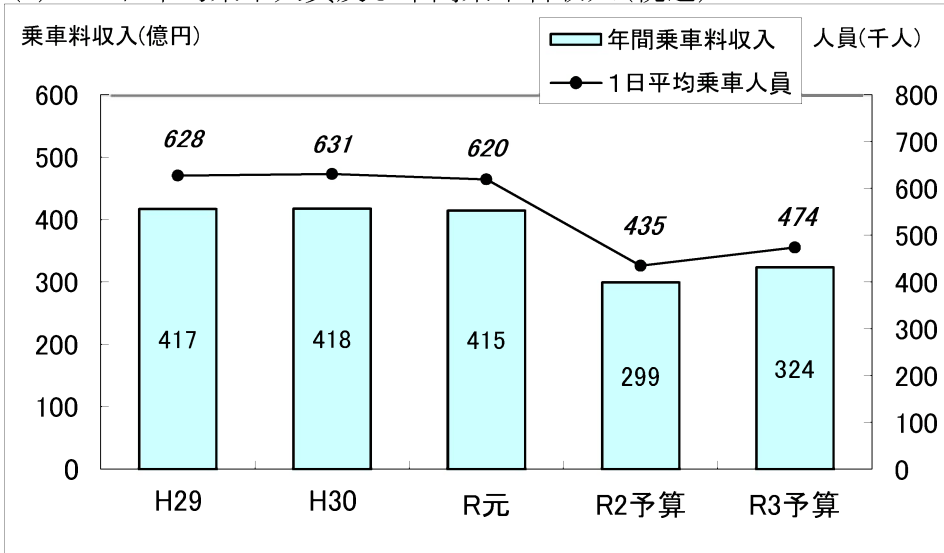
(高速電車事業会計)

(単位：千円)

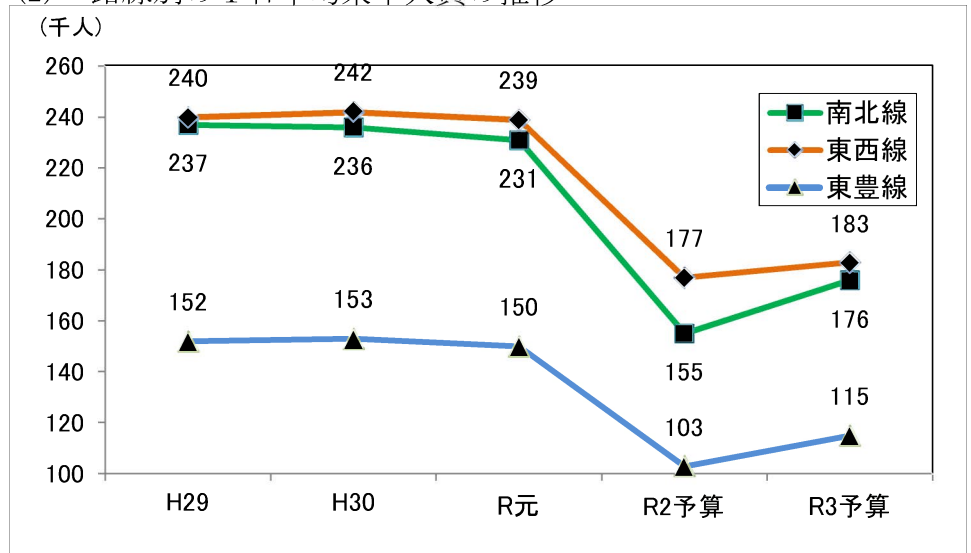
項目	令和2年度 予算(A)	令和3年度 予算(B)	差引 (B)－(A)	事業の主な内容	
建設改良事業	14,443,245	13,797,000	△ 646,245		
同上 財源内 訳	企業債	10,960,000	10,705,000	△ 255,000	<p><老朽化施設の改修等> 駅舎施設設備の改修 6,416百万円 ○耐震改修工事（南北線シェルター（工事）、南車両基地（設計）等）・・・1,703百万円 ○EV・ES更新工事・・・884百万円 ○自動出改札装置等更新・・・832百万円 ○東豊線空調換気給排水設備改良工事・578百万円 ○南北線さっぽろ駅改良事業・251百万円 ○券売機・精算機新500円硬貨対応・・・225百万円 ○すすきの駅リフレッシュ事業・34百万円 電力・通信施設設備の改修 4,457百万円 車両・工場機器設備の改修等 2,585百万円 ○東西線8000形車両車内表示器更新（多言語対応）・・・145百万円</p>
	一般会計 出資	1,788,000	1,425,000	△ 363,000	
	国補助 庫金	452,491	128,500	△ 323,991	
	一般会計 補助	321,199	0	△ 321,199	
その他	921,555	1,538,500	616,945	<p><インバウンド関係> 339百万円 ○旅客用トイレ改良工事（トイレの洋式化）・・・194百万円 （東西線大通駅、円山公園駅の工事及び東西線大通駅（ラッチ外）、東札幌駅の実施設計） ○ホーム案内板の更新（多言語対応）・・・62百万円 ○東西線大通駅吊下げ電照標識改修工事（多言語対応）・・・48百万円 ○駅出入口電照標識更新工事（多言語対応）・・・35百万円 ○東西線8000形車両車内表示器更新（多言語対応）・・・再掲</p>	

4 過去5年間の傾向

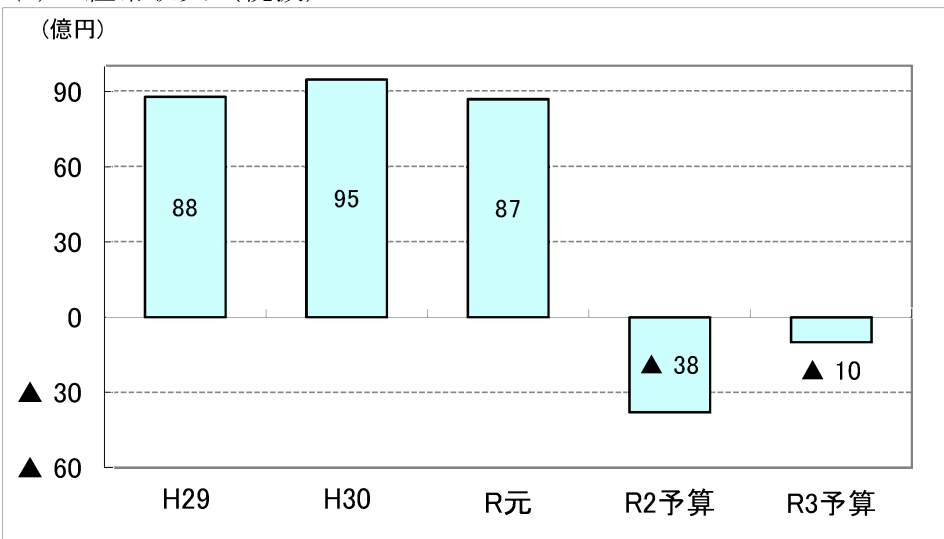
(1) 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



(2) 路線別の1日平均乗車人員の推移



(3) 経常収支(税抜)



(4) 企業債(借入額・償還額・残高)

